

第6期（平成28年度）

総会資料



日時 平成28年4月17日（日）18:00～

会場 尾張旭市 渋川福祉センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区

地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

コミッショナー

協議会長挨拶

横江協議会長

スカウト紹介

コミッショナー

富士スカウト・隼スカウト

第二部 議案審議

議長選出

書記選任

総務委員会

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 178 名)

事務局

出席 116 名 委任状 45 名

議案

第1号議案 平成27年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第2号議案 平成27年度決算・会計監査報告の件

会計係、事務局、監事

第3号議案 平成28年度事業計画の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第4号議案 平成28年度予算案の件

会計係、事務局

第5号議案 県連規定変更に伴う地区規約改訂の件

事務局

議案審議

議長

第三部 閉会式

協議会長 挨拶

横江協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川保子 氏

国旗儀礼

中谷コミッショナー

閉会の言葉

組織・拡充委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

- ・3部会制（総務・登録・広報）の効率的な運営ができませんでした。
来期は県の委員会に合わせ広報・ツール・事業部会とします。
- ・地区の主要な会議記録概要を公表し委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・毎月の登録状況増減表を地区委員会、団委員長会議、定例会委員会で報告できました。
- ・地区ホームページの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。
- ・地区フェイスブックの運用も4年目となり内容も充実してきました。
- ・地区誌「はやぶさ」の原稿が集まらず予定通り発行できませんでした。（2/3回）
- ・県凶画・写真コンテストの審査員奉仕（技能章審査員：絵画・写真）ができませんでした。
- ・委員会出席ゼロの団が4個団あります。不参加理由を調査し参加率向上を目指していきます。
- ・登録システムの活用法についてさらに研究していきます。

スカウト進歩委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

① 進級スカウト数値目標について

富士スカウト	3/3	100%
隼スカウト	7/26	27%
菊スカウト	37/35	105.7%
一級スカウト	29/47	62%

② 団面接の完全実施

菊以上のみ面接を行っている団、面接を行っても【団面接報告】が為されていない団があります。この様な次第から、一級スカウトについては報告漏れが数多有り①の数値目標の一級人数は、疑問があります。

CSの進級からVSまで、教育規定に沿って面接が行われ、面接報告が届く様に計るのが来年度の課題であります。

③ 技能章講習会

年々、参加スカウトが減少傾向にあり残念です。が、修得技能章数は100個に届きました。講習会に奉仕されている、指導者のご尽力の賜です（表紙の審査票のみ書けば申請できる所まで講習会にて指導された結果）。講習会に指導者が奉仕頂けない団は、スカウトの技能章修得が少ない傾向にあります。各団団委員長様に、指導者の熱意とスキルアップを計る具体策を講じていただきたく提案する次第です。

④ フォーラム

フォーラム採択事項が、団のVS隊で実施されていないと感じています。

実施報告は5個団しか届きませんでした。アフターフォーラムの参加団が少なかった（5個団）事が頷ける現実です。

① の数値目標において、隼スカウト達成率が低迷していることを合わせ考えて、VS部門のてこ入れをコミッショナー会議に提案します。

- ⑤ 委員会行事への参加と奉仕
 定例会議出席率は、高率を保っています（出席状況表参照）。
 行事への奉仕は、粘り強くお願いして、「全員一回は奉仕」を目標に来期に望みます。

指導者トレーニング委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

『地区運営目標』についての評価・反省

- (2) ①・1 課題研修・課題研究・実務訓練において、担当トレーナーと協働し一貫性のある支援を行う。
 ⇒コミッショナー・副コミッショナーの支援の元、研修所、実修所（PT・MT）参加者には、指名されたトレーナーが継続的な支援を行い参加者は十分な研鑽を積んだ上で各コースに参加する事が出来ました。また、現在もその支援は継続されています。
- (2) ①・2 地区コミッショナーの方針により、トレーナー（ALT）の増員（本年度1名）を支援する。⇒瀬戸第6団・林 尊浩氏がALTCに参加し、訓練を修了しました。
- (2) ①・3 BS-RTを通じ、実修所未修了者へ参加支援する。今年度は、WB実BS187（PT）へ、5名の参加を目標とする。⇒BS-RTに参席しPTへの参加を促しましたが、目標の5名には届かず、4名の参加となりました。
- (2) ②・1 年間5回の定型外訓練開催を継続（団委員対象1回・隊指導者対象2回・救急法、野営法各1回）⇒計画した訓練は全て開催することができました。
 但し、下表に示すように過去5年間で最も少ない平均参加者数となっています。
 また、総参加者数が低下してきていることを問題と捉え、次年度以降の訓練開催に当たっては、団委員及び隊指導者の方々が参加しやすい訓練環境作りに努力して行きます。

指導者訓練過去5年間の経緯

	定型外訓練開催数	総参加者数(人)	平均参加者数(人/回)
H23	6	200	33
H24	7	188	27
H25	7	131	19
H26	6	147	25
H27	5	97	19
5年間計	31	763	25

- (2) ②・2 団内でのスキルトレーニング認定が出来る体制作りに貢献する。⇒今年度は委員会として機能していません。
- (2) ④ 運営委員会の開催を、委員自身の自己研鑽の場としても活用する。⇒委員会の検討事項を討議する方法として、グループワークの手法を取りました。この結果、すべての委員が発言する事ができ、また活発な意見交換の上、多様な意見を聞くことが出来ました。
 次年度もこの方法を継続して行きます。

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

- ・予定した事業予定を実施し事故も無く活動奉仕できました。
- ・各種活動情報の入手方法が多岐に亘りあるため、行事国際委員が入手する前に情報入手され委員としての情報入手が遅れる事がありました。
迅速な情報入手と伝達に努めて行かなければならないと反省しています。
- ・「緑の羽根」募金活動や「スカウトの日(カントリー作戦)」に全ての団の参加が出来ませんでした。
環境啓蒙活動であり、平成28年度は27年度より増えるように進めて行きます。
- ・10月25日開催「第2回あいちビーバーカブラリー」地区ブース運営を行い、奉仕しました。
- ・地区行事国際委員会を予定通り6回開催し、各種情報を各団への展開と情報交換を行いました。
- ・委員会出席0“ゼロ”の団が2個団ある。不参加理由を調査し参加率向上を目指して行きます。
- ・県連行事国際委員会への出席は予定された6回出席し、各種情報を地区内へ展開しました。

総務委員会

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

- (2) 一① 調査報告団の団委員数256名 本年度、団委員研修所・団委員実修所への参加者は6名で終了。履修率目標30%には程遠く、次年度は当初より参加啓蒙し、各団団委員長からも、スカウト登録者の研修所・実修所への参加促進をお願いいたします。
- (2) 一④ 委員会参加率80%以上に対して、69.5%で終了。(別紙資料参照)
- (3) 一① (1) 防災ボランティアコーディネーター養成講座に8名の参加があり、各団の協力により人材育成には、寄与できました。
(2) インシデント報告の定着と地区内水平展開では年度後半から5件、事故報告書年間4件あり、インシデント報告(ヒヤリハット)は定着しつつあり、次年度も継続する。
(3) 地域防災訓練等への参加については、一部の団の間取りで終わりました。
- (3) 一② 地区ボーリング大会の開催。(44名参加)
親睦会も兼ねて、参加者を増やすべく、実施要綱を練り直して開催いたします。
- (3) 一⑤ 団財政健全化に向け、調査報告の結果、イオンの「黄色いレシートキャンペーン」が早期に取組みやすいので、各団で対応してもらうことになりました

尾張東地区ローバース Frontier

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

発足して5年が経過し、結成当初からの問題であった人数不足に関してはVSフォーラムやアフターフォーラムをRSが運営に関わることにより、VSにアピールができ、人数増加に繋がったと考えられます。これまでは内容よりも仲間を集めることに重点を置いて考えてきましたが、ある程度人数が集まってきましたので今後はよりプログラムの内容にこだわった活動をしていきます。そのためには、スカウトに対する各団の支援が必要不可欠なので今後もご支援をお願いします。

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

【コミッショナー】

- ・実修所、研修所の参加者数は評価できますが、低年齢課程への参加者が少なく、次年度の掘り起こしに注力すべき状況でした。また、WB研修所の参加者は年齢が下がる傾向にあり、特にRS年代の対象者には事前課題への取組の充実を心がけるとともに、余裕を持った支援を可能にするため、早期のエントリーを各団に働きかける必要があります。
- ・地区トレーニングチームでは、地区の定形外トレーニングの準備を効率的に行うため、指導者トレーニング委員会との役割分担や手続き等の指針をまとめました。次年度は、タスクチームがこの指針を活用してトレーニングの準備を遅滞なく進めるとともに、タスクチーム会議を充実させることによりチーム員の資質向上に取り組みます。
- ・年間8回ないし4回開催される隊長会(以下、RT)で実施される課題研究が定着してきました。今後は、各隊長が研鑽の場と位置づけられるようニーズを取り入れてより内容を充実させていきます。また、研修内容を各団にフィードバックできるよう、地区委員会や団委員長会議で報告していきます。

【BVS部門】

- ・様々な手法を用いてグループワークを中心とした年間および隊集会プログラムの考察を重ね、自隊のプログラムに展開できるように相互研究しました。それらの実施展開ならびに評価反省を基に、更に充実したプログラムへの支援を継続します。
- ・隊訪問を通して現況を確認し、団・隊指導者ならびに保護者との交流を図りました。どの団も、保護者の理解や協力があり、スカウトたちは元気に活動を行っていました。プログラムだけでなく、隊指導者への支援も今後の課題であると考えます。

【CS部門】

- ・月の輪集会について RT で集中的に取り組んだ結果、各団初年度から円滑に開催することができました。
- ・隊訪問については、日程調整不足につき実施することができませんでしたので、次年度も引き続いて実施を計画します。

【BS部門】

- ・地区キャンポリーの実施に向け検討を行いましたが、適当な規模の野営地が見つからなかったため断念し、2TC参加隊での複数隊合同集会を行うこととしました。
- ・県連盟副コミッショナーの支援を受け、地区内の BS 隊の隊訪問を初めて実施し、今年度は15個隊について実施しました。それにより各隊の隊運営の状況把握ができ、今後の指導課題の発見につながりました。
- ・菊スカウトは目標35名に対し37名が受章し、各隊長の努力により目標は達成されました。ただし、スカウトの進歩については、各隊長のプログラムと進歩の関連性の認識や認定基準等にばらつきが見られましたので、次年度以降ラウンドテーブル等を通じて改善を図る必要があります。

【VS部門】

- ・地区VS議長会議の立ち上げが当初の予定より遅れましたが、その後は地区VS議長を中心に、スカウトによる会議の運営が行われました。また、VS大会について、年2回の開催を目指したものの1回のみ開催となりましたが、その企画、計画、運営方法については期待以上の成果があり、議長会議、VS大会共に大きく評価できました。
- ・本年の隼章・富士章修得者について、隼は5個団より6名、富士は3個団より3名であり、年度当初の目標数に対して隼23%、富士75%の達成率でした。富士に関しては一応の評価ができると考えられますが、隼の目標値は過大な設定であり、十分な支援が実施できていないことは大きく反省する点です。
- ・RT内での研究会が十分な成果を挙げていない事が、前述の進歩に対する結果と考えます。一方で技能章修得への取組みについては、各隊指導者の奮起もあり、取得者が多数になったことは評価しています。
- ・隊訪問については、7個隊の訪問となり目標数8には届きませんでしたが、各隊の取組み状況については、半

数近くの隊で調査を行うことができました。ただし、活動が低迷している隊への訪問、調査が進んでいない事は次年度の課題です。

【RS部門】

- ・活動計画に掲げた内容はすべて実施することができたが、RTの出席率からみると地区内全団への指導は十分ではありません。RTへの出席率を上げるとともに、団委員長会議などでもRS部門の計画や活動を報告していく必要があります。
- ・英国エディンバラ公国際アワードに関しては、スカウト、指導者に対する周知が進んできました。年度内の新規挑戦者はありませんでしたが、次年度に向けて挑戦者の掘り起こしなどはできたと考えています。

【団担当】

- ・設定した目標は、おおむね達成できました。しかしながら、各団の発展に寄与出来なかつたことは取り組みが甘かったと反省しています。
- ・活動において、団活塾の中での部会活動を利用することは有効でした。
- ・再生計画に取り組んでいる団との信頼関係を築くことが大きな課題と捉えています。

事務局

事業報告

- ① 愛知連盟会議出席・奉仕しました
 - ・県連総会 平成27年6月21日 受付業務
 - ・事務長会議
年3回 平成27年7月4日、10月13日、平成28年3月8日
- ② 地区委員会／団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
 - ・地区委員会 9回開催
 - ・団委員長会議 3回開催
 - ・危機管理委員会の開催
- ③ 会議資料作成などの事務作業を行いました
 - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化
- ④ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。一部、情報量が多大のため情報展開が遅れました。次年度は情報展開等遅滞なく各委員会と協働で行います。

組織・拡充 委員会 活動報告

平成27年度 尾張東地区運営目標		組織・拡充委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括 活動まとめ
小項目			(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	
1	①スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施	地区登録人員増減表を毎月の定例会（地区委員会・団委員長会議・定例委員会）に提出します。	4/11団委員長会議 5/10地区委員会 6/14地区委員会	7/12地区委員会 9/13地区委員会	10/17団委員長会議 11/8地区委員会 12/13地区委員会	1/11地区委員会 2/13団委員長会議 3/6地区委員会 3/21地区委員会	毎回地区登録人員増減表を提出できました。団活動で教えて頂いた分析手法を取り入れ様式を毎回改善して各団の意識改革ができたように思います。
	③海外派遣等のグローバルな活動への参加支援 ・VSおよびRSに対する積極的な情報提供と支援	地区WEB及び地区FBの更新	RCJフォーラム2015の案内を地区HPに掲載	平成27年度第3回ARC定例会開催のご案内を地区HPに掲載	アフターフォーラム160111(×切1/7)レディヤン春日井の開催要項を地区HPに掲載	ボーイスカウト学生と企業とのリクルート懇談会を地区HPに掲載	情報の更新はリアルタイムで実施できました。
	⑤第23回世界ジャンボリー」に向けた支援 ・参加者および関連事業への支援態勢	23WSJ特別ページ及びFBの更新	23WSJ特別ページを開設しました。（日本連盟にロゴマーク使用許可申請） 23WSJ専用FBを開設しました。	尾張東各派遣隊のページリンク ・0607隊（尾張東・南・西） ・0608隊（尾張東） ・0609隊（尾張東） ・0618隊（愛知混成）	尾張東各派遣隊の更新 ・0607隊（尾張東・南・西） ・0608隊（尾張東） ・0609隊（尾張東） ・0618隊（愛知混成）	尾張東各派遣隊の更新 ・0607隊（尾張東・南・西） ・0608隊（尾張東） ・0609隊（尾張東） ・0618隊（愛知混成）	尾張東各派遣隊の更新はリアルタイムで実施できました。地区過去大会情報として掲載しておきます。
3	②ラリー等の県連、地区行事へのスカウト年齢の一般参加者の参加を推進	第2回あいちピーパーカブラリー情報を展開しました。	第2回あいちピーパーカブラリー情報を展開しました。	第2回あいちピーパーカブラリー情報を展開しました。	第2回あいちピーパーカブラリー会場で募集活動を行いました。見学希望者の情報を各団に展開しました。	第2回あいちピーパーカブラリー会場で募集活動を行いました。見学希望者の情報を各団に展開しました。	第2回あいちピーパーカブラリー会場で募集活動を行いました。見学希望者の情報を各団に展開しました。
	③地域内各種団体との連携（広報活動） ・GS、子供会およびLC、RC等支援団体との連携を強化	他団体の活動を見学及び調査します。	委員会では実施できませんでした。	委員会では実施できませんでした。	委員会では実施できませんでした。	委員会では実施できませんでした。	委員会では実施できませんでした。各団では実施報告はありましたので定例委員会で各団に情報を展開しました。

平成27年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区

スカウト進歩委員会 活動報告 報告者：中村隆二

平成27年度 尾張東地区運営目標		第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括 活動まとめ
小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	
(1)-④	①菊章、隼章、富士章、各修得者数の年間目標を達成するために、各団毎の目標数を目標に掲げて、毎月進捗を報告して貰います。また、その支援を定例の委員会にて行います。	①富士スカウト 3名 目標値⇒結果 1名 達成率33.3% ②隼スカウト 26名 目標値⇒結果 4名 達成率15.38% ③菊スカウト 35名 目標値⇒結果 13名 達成率37.14% ④一級スカウト47名 目標値⇒結果 19名	①富士スカウト 3名 目標値⇒結果 1名 追加無し 達成率33.3% ②隼スカウト 26名 目標値⇒結果 4名 追加無し 達成率15.38% ③菊スカウト 35名 目標値⇒結果 16名 三名プラス 達成率45.71% ④一級スカウト47名 目標値⇒結果 19名	①富士スカウト1名+2/3の達成 ②隼スカウト1名+5/26の達成 ③菊スカウト9名+25/35の達成 ④1級スカウト2名+21/47の達成	①富士スカウト3名 目標値⇒結果 3名 達成率100% ②隼スカウト 26名 目標値⇒結果 7名 達成率19.2% ③菊スカウト35名 目標値⇒結果 37名 達成率94.3% ④一級スカウト47名目標値⇒結果33名 達成率70.2%	VS部門は目標設定に疑問があります。特に、隼スカウトは各団VS隊長の強い指導が必要です。VS隊長会での指導を担当副コミにお願いします。 BS部門はほぼ順調と言えます。
	②団面接の完全実施 昨年に引き続いての目標です。	8月末で10個団が団面接報告が有りません。	9月末で7個団返事がありません。 達成率 69.56%	1個団系統が増加し、未回答が6個団になりました。	23個団中5個団の報告が有りません。実施の報告が有りませんが、実施を確認できた団が2個団あります。面接報告をお願いしていますが届きませんゆえゼロとしています。	委員会、情報交換会を通してCS～VSの団面接会開催を強くお願いします
	③技能章講習会の開催6回 日程は別紙	(1)看護章、(2)炊事・野営章、(3)救急章と是までに三回実施しました。参加VS人数は回復し、定員近い人数を確保しています。	7月9月はありませんでした。	救急法講習会12月、参加希望者9名と低調です。次回定例会議で年一回を検討します。	12月の救急章講習会が参加申込が少なく、開催を心配しましたが、かき集めて実施のこぎ着けました。と言うことで、予定の6回実施いたしました。	技能章の修得者は、3/14。現在で100個、例年の70台から大幅な進歩です。講習会に於いて、レポート完成間近まで指導下さるようになったスタッフの方々のご盡力が実った事と感謝しています。
	④スカウトフォーラムとアフターフォーラムの実施	①地区スカウトフォーラム 9/26-27犬山野活 ②地区アフターフォーラム 1/11レディアン予定	9/26-27地区フォーラム実施 申込24名 ドタキャンが7名あり、ドタキャン癖回復を心配	1月のアフターフォーラム、募集要綱を発信しました。	①地区スカウトフォーラム 9/26-27犬山野活 ②地区アフターフォーラム 1/11レディアン	フォーラム参加スカウト14個団26名。アフターフォーラム参加スカウトは5個団9名でした。 時期が悪かったのか、VS隊指導者の意識が低いのか判断しかねています。 原因説明は来期の課題です。
(2)-④	①委員会の度に情報交換会を設け意識向上を計ります	毎回情報交換会を設けて参加率の向上に役立っています。	参加率78.26%	参加率78.26% 横ばいです	毎回情報交換会を設けて参加率の向上に役立っています。	参加率は81%、好調を継続しています。
	②技能章講習会への奉仕を通じてスキルアップと責務実行を体感します	9月のフォーラム、10月の宗教章と炊事章と多野営章、12月の救急章まで、ほぼ全員の各団委員さまが奉仕を戴きます。	7月9月はありませんでした。		ほぼ全員の各団委員さまが奉仕を戴きました。	昨年に比べ各段の進歩です。

平成27年度 尾張東地区運営目標		行事国際委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成27年4月～平成28年3月)
(1) スカウトに対して、より良きサービスを提供する。							
	③海外派遣等のグローバルな活動への参加支援 ・VS及びRSに対する積極的な情報提供と支援	海外派遣事業の広報および面接の実施	①7/25-31第29回韓国北部連盟キャンプ(派遣予定人員：2名) 派遣中止 ②新たな派遣情報無し	次の2案件、各団へ展開 ①平成27年度CJK7°の「アウトバング」派遣 募集期限：9/26申込者無し ②29回愛知連盟フィルモント派遣 募集要項(指導者) 派遣期間：H28 7/20-8/6 募集期限：H27 10/30	※オーストラリア交換留学生1名HS受入 ⇒春10で受入(H27/11/30-H28/1/17) ④台湾ナショナルキャンプ参加者募集案内 (H28/1/24～1/29) ⑤台湾ナショナル・ローバー・カワルカ参加者 募集案内 (H28/1/29～2/3) ⑥第29回 愛知連盟フィルモント派遣募集 (H28/7/20～8/6) ⑦第10回 韓国ソウル北部連盟RS緑化7°の「アウト」派遣 長久手1団RS1名参加 期間：4/8-10	※オーストラリア交換留学生1名、春10受入 ⑥第29回 愛知連盟フィルモント派遣(スカウト追加募集) ※派遣隊長1名選出	・海外派遣情報7件紹介 ・韓国ソウル北部連盟緑化プロジェクトへの派遣実施予定
	⑤「第23回世界ジャンボリー」に向けた支援 ・参加者および関連事業への支援体制	23WSJへの派遣支援とホームスティ受入支援	①実行委員会を組織、3個隊組織し派遣準備中 ②ホームスティ受入⇒中止	①7/5派遣隊結滞式・壮行会開催(7/25-8/8 大会参加、無事帰還)			① 23WSJ派遣に向け実行委員会を設け、結隊式と壮行会を開催し予定通りの行事を実施しました。 ②相手国の事情によりホームスティ受入は中止となりました。
(2) 指導者の資質の向上を図る							
	④各種会議の実効性の確保 ・隊長会および運営委員会の充実(研修の場としての活用)	行事国際委員会委員の参加率70%以上	1回目(4/26) 69% 2回目(6/21) 74%	1回目(4/26) 69% 2回目(6/21) 74%	4回目(10/18) 69% 5回目(12/20) 61%	6回目(2/2) 69%	会議出席率：70% 目標達成
(3) 地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する。							
	④地域内青少年を対象とした行事の開催および参加	地域青少年を対象とした行事の把握	各団へ調査表送付し情報収集中	情報収集中、年内にまとめる	情報入手：残1個団 各地毎に集計中：1月末地区へ報告予定	2月企画会議へ提案・承認、3月地区委員会で報告	各団地域奉仕活動情報をまとめ、3/6地区委員会で報告し完了
	⑥危機管理体制の構築 ・関係書類の提出の徹底	[野舎営届][県外旅行申請書]の受付と地区への報告	①提出管理表作成し委員会で報告 ②提出ルール作成中	行事国際委員会や地区委員会時に提出管理表を提出し状況報告中 提出ルール確定し7月地区委員会に報告	←	←	「野舎営届」「県外旅行申請書」の提出管理を実施し、地区委員会や行事国際委員会で提出状況を随時報告した。 3/2現在：提出件数の提出状況 ・野舎営届：180件 ・県外旅行申請書：66件
		地区備品の整理	H23年時の調査書に基づき再調査実施 ⇒備品としての要否判定と保管管理ルール作りを行う。	各エリアで保管管理している備品確認済 今後の進め方：備品として管理する用品選定作業	管理備品整理完了 貸出し管理方法と維持について文章化し1月末、地区へ提示予定	2月企画会議へ提案・承認、3月地区委員会で報告 残：貸し出し管理表の作成と地区HPへの掲載	各エリアでの管理備品をまとめ、報告し完了 引続き、貸出書と備品リストの地区HP掲載を行いました。
		リスク管理	①新フォーマット対応で副委員長と検討中 ②リスク対応「野舎営届」「県外旅行申請書」 ⇒記載内容検討中	行事国際委員会として考えられるリスクを抽出し、8月の企画会議へ提示 8月度、行事国際委員会で決定し各団で運用開始	総務委員会へ委譲 各委員会でリスク管理審議で重複 ⇒総務委員会で担当に変更		総務委員会へ委譲 「野舎営届」「県外旅行申請書」の記載事項の統一化を行い適用しました。

総務委員会 各四半期活動報告

平成27年度 尾張東地区運営目標		総務委員会 活動内容	第1四半期 活動状況	第2四半期 活動状況	第3四半期 活動状況	第4四半期 活動状況	年度総括まとめ
番号	小項目		(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(平成27年4月～平成28年3月)
(2)	指導者の資質向上を図る。						
	① 団委員研修所、団委員実修所への参加。	委員のスキルアップをめざし団研履修を啓発し現在の履修率より30%アップを目標とします。			各団報告数、団委員数256名。本年度団研・団実履修者数6名。		各団、調査しても履修率は3～5割程度。 次年度は最低10%アップを目標とします。
	④ 各種会議の実効性の確保。隊長会および運営委員会の充実。(研修の場としての活用)	・総務委員会委員の参加率 80%以上。	4/12 69%	8/30 70%	10/12 65%	2/14 83%	平均参加率 69.5%で終了。
			6/13 61%		12/5 61%		次年度は最低78%を目標とします。(18団/23団)
(3)	地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと地域との連携を強化する。						
	① 防災訓練への参加等、災害支援に備えた取組。	1、地域防災訓練への積極的な参加を啓発する。各団の現況調査を実施し、全団参加を目標とします。	委員会開催時、一部の団の聞き取り調査を行いました。				一部の団の現況調査で終了。次年度の課題とします。
		2、防災ボランティアコーディネーター養成講座に5名以上参加し、災害時に役立つ人材育成を行います。	防災ボランティアコーディネーター養成講座参加者募集。(7/5開催予定。8名参加予定。)	防災ボランティアコーディネーター養成講座 8名参加。	防災ボランティアコーディネーター養成講座のフォローアップ講座、受講促進。	防災ボランティアコーディネーター養成講座のフォローアップ講座、受講促進。	防災ボランティアコーディネーター養成講座 8名受講。次年度は 3名以上参加を目標。
		3、インシデント報告の定着と地区内の水平展開の実施。	総務委員会開催時に報告と展開の実施。	総務委員会開催時に報告と展開の実施。	総務委員会開催時に報告と展開の実施。	総務委員会開催時に報告と展開の実施。	総務委員会開催時に報告と展開の実施。次年度も継続します。
			第1四半期なし	第2四半期なし。事故報告書2枚提出。安全面注意の喚起をしました。	インシデント報告 3件 事故報告書1枚提出。安全・注意の喚起をしました。	インシデント報告 2件 事故報告書1枚提出。安全・注意の喚起をしました。	
	② ラリー等の県連、地区行事へのスカウト年齢の一般参加者の参加を推進。	地区・団の一体感を増すため、地区行事の企画運営に参加します。		地区ボーリング大会 企画	地区ボーリング大会 開催		地区ボーリング大会開催。(44名参加) 次年度は11月26日(土)開催予定。
	⑤ 団財政健全化を推進。	団の財政健全化の研究を進めて全団が新規収入アイテムを1件以上開拓します。		各団へ調査表を送付して情報収集。	調査の結果、イオンの「黄色いレシートキャンペーン」が取組みやすいように思われます。		調査の結果、「イオンの黄色いレシートキャンペーン」が早期に取組みやすいので、各団で対応してもらいます。
					各団で対応。		

地区ローパス 活動報告

平成27年度 尾張東地区運営目標		地区ローパス活動内容	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度総括 活動まとめ
小項目			(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	
地区ローパス	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する。 ⑥ユース年代の活動支援 ・英国エディンバラ公園国際アワードの活用 新規掘り起こし 2名以上 ・地区ローパスの奉仕と研鑽の支援	個々の知識、技能を向上できるような研修会、アクティビティを実施する。	4/12 総会・第1回定例会 28名参加 新規掘り起こし10人達成 エジンバラアワードについて定例会で発表	7/11～12 3地区(尾張東・名古屋北斗・知多西南)夏季アクティビティ 計43名参加 普段やることできない海プロを知多東地区に支援して頂いた。 7/20 第2回定例会 14名 エジンバラアワードについて岩田アワードリーダーに紹介をして頂いた。 9/12 ファシリテーター講習 8名 VSフォーラムに向けてファシリテーションスキルを学んだ。	10/12 第3回定例会 14名参加	1/11 アフターフォーラム運営 11名参加 県フォーラムで決まったことを地区内で共有しこれからの行動を考えた。 2/14 第4回定例会 17名参加 色々な情報を交換しました。 3/5～6 冬季アクティビティ ボルダリングなど活動の幅を広げました。	60点 ・夏季アクティビティ→知多東地区の協力のもと、普段やることできないジェットスキーを扱うことで活動の幅が広がった。 ・ファシリテーター勉強会→中部ファシリテーション協会のメンバーの方に講師をしてもらいファシリテーションについて学び、VSフォーラムで実践した。
	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する。 ③海外派遣等のグローバルな活動への参加支援 ・VSおよびRSに対する積極的な情報提供と支援	地区外、他部門、他団体と交流を行い、ローパリングの活性化を図る。	地区のFacebookの更新率を上げVSやRSに情報を発信した	9/26～27 地区VSフォーラム運営 24名参加 RSが運営することでVSと仲良くなりRSへの上進率をあげるとともにファシリテーター講習会をファシリテーション協会の方に依頼し各々のスキルアップをした。 地区のFacebookの更新率を上げVSやRSに情報を発信した	10/10～12 RCJフォーラム 3名参加 地区ローパス発表の場を頂き全国のRSに魅力を伝えた。	2/13～14 尾張ブロック意見交換会 2名参加 地区ローパスの意見交換をした。	70点 ・尾張東、名古屋北斗、知多西南地区ローパス合同夏季アクティビティ ・23WSJ ・RCJフォーラム ・尾張ブロック意見交換会に参加し、様々なローパーと交流した。 ・冬季アクティビティ
	(3)地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する。 ①市町単位の地域行事への地区としての支援 ・防災訓練への参加等、災害支援に備えた取組 ・少人数団の市町主催行事への人的支援	地域社会に対して、奉仕活動、PR活動を行う。	5/2～4 小牧山親子ラリー支援 16名参加 小牧の団の奉仕をした	7/5 防災ボランティアコーディネーター養成講座 5名非常時にリーダーシップを発揮できるように学んだ。			15点 小牧山親子ラリーでは地区ローパーとして参加することでPRができたと思うが他で活動をできていない。

平成27年度 ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区
コミッション 活動報告

平成27年度 尾張東地区連盟目標	コミッション活動内容	第1四半期 活動状況 (4月～6月)	第2四半期 活動状況 (7月～9月)	第3四半期 活動状況 (10月～12月)	第4四半期 活動状況 (1月～3月)	年度総括 活動後とめ (27年3月～28年3月)
小項目						
U	(1)指導者の資質の向上を図る。 ①WB研修所、実修所への参加支援	研修所、実修所に参加する指導者に対し追加で継続的支援	4/19、6/28 地区コミコンで最新所参加者の振り返りを指示 6/14 地区委員会での呼び出し	7/12、9/13 地区委員会での最新所参加者の振り返りを担当コミとトレーナーの連携による支援の実施	10/17 同委員長会議で実績報告 担当コミとトレーナーの連携による支援の実施	28年度のコースに向けた支援 地区委員会等での啓発
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ②各各種会議の実効性確保	地区トレーニングチーム(地区T)の活動方法の再検討及びチーム員研修の実施	トレチームの運営方法を改善(主担当委員会を協議) 5/31 主要スタッフ会議の開催	8/30 主要スタッフ会議の開催	10/4 主要スタッフ会議の開催 11/23 トレチーム研修会を開催	28年度の地区定形外訓練の計画及び実施に向けた調整 3/6 地区Tの開催
V	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ④全ての団から、「菊」「富士」取得者を自指す ②各各種会議の実効性確保	地区教育チームの充実のためチーム員募集を行う	-	-	-	TTチームを中心とした幹事メンバーによる運営、活動方法の検討を行い、チーム員の育成の方向性を検討 11/23にチーム員研修会を開催
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	団員で活用できるような楽しい隊員会プログラムを研究する	6/28 (RT) ビーバースカウト活動における安全に対する評価と運用を研究	7/26 (RT) 隊活動に必要なとされる安全と管理について研修(医療従事者による講演)	10/25 フログラムの実施 展開の体験(第2回あいびーハーフマール) T1 活動紹介	1/24 (RT) 隊員会プログラムの「ねらい」について考察 3/13 (RT) クラフトの実践
S	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	班間(10ヶ月)を研究し、プログラム向上の支援を図る	6/21 大町第1回 6/28 津戸第1回	7/5 小牧第1回 7/19 日進第2回 8/23 春日第1回 9/27 江岸第1回	12/6 清瀬第1回 12/20 大町第7回	1/14 (RT) 隊員会プログラムの「ねらい」について考察 3/13 (RT) クラフトの実践
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	年間プログラムを検討し、團の方向性を定めるように支援する	5/24 (RT) 自隊の年間プログラムにおける安全と進歩のバランスを再考	9/27 (RT) 季節と戸外プログラムの研究	11/23 (RT) 次年度へ新しいプログラムを打ち出すための研究	3/13 (RT) 今年度の評価反省
C	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	RTでくま集会、くまキャンプ、月の集まりについて研究する	6/7くま集会を有志団で開催。次回に向けて評価反省をする	9月RT月の集まりについてBS・CS合同RTを開催。	11月RTで次年度定形外訓練について情報提供。	7月RTで次年度定形外訓練について情報提供。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	担当副コミッションナーによる班間(7ヶ月)を行う	5月RTで各隊の0%を確認し、今後調整予定。	9月RTで下半期の活動予定についての報告を依頼し、訪問日調整への協力依頼。	10月RTで下半期の活動計画を収集するも、隊訪問までは至らず。	担当副コミッションナーの訪問日調整がつかず、隊訪問には至らず。
B	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	地区キャンプホリを平均29日実施することを目指す その準備を行う	ラウンドテーブルを通じて、地区キャンプホリの会場候補地候補地の検討を行った。また地区委員会にて実施の方向性について承認を受けた。	地区キャンプホリについては、地区内の会場候補地がないことから開催を断念し、2TC編成後の合同隊員会を開催する方向に変更を行った。隊訪問を4個団実施し、個別	地区キャンプホリについては、地区内の会場候補地がないことから開催を断念し、2TC編成後の合同隊員会を開催する方向に変更を行った。隊訪問を4個団実施し、個別	2TCの参加隊員会を行い、2TC編成後の合同隊員会を行うこと。まずは参加隊員会と計画を立てた。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	6歳以上の隊訪問を行い、各団BS隊活動の実態の把握と個別支援を実施する	特になし。	9月および10月で全隊を訪問する計画を立て、9月中は4個団の訪問を行った。	第3四半期の間に9個団訪問を行った。隊活動がなかったり、コミの都合で訪問できなかった残り7個団は第4四半期で訪問を行う。	第4四半期の間に2個団訪問を行った。残り3個団は訪問ができたが、訪問した隊の状況を把握することができず、これは大きな課題であった。また、各隊の準備し、RTの個別支援等今後改善を図っていく。
S	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	定形訓練への参加を促す 全隊において副長以上の研修所修了、隊長の実修所修了を目指す	ラウンドテーブルで上級訓練の参加について懇話会を行った。(5/27)	10月に開催されるBS実修所への参加を促し、4名の参加希望者の参加支援およびトレーニングとのマッチングを行った。	平成26年度に愛知連盟で開設された提携訓練について、11月ラウンドテーブルで周知し、参加者の募集支援を行った。	平成28年度開設の研修所について周知を行い、4月・5月開設の参加希望者に対して支援を行った。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ④各各種会議の実効性確保	CS部門と協働し、「月の輪」題目が各団で適切に実施できるように支援し、各団でCSからBSへの向上率100%を目指す	ラウンドテーブル(5/27)にて活動方針について懇話会を行った。	ラウンドテーブル(9/27)をCS部門と合同実施し、月の輪活動について懇話会を行った。またCSとBSの共同活動の推進も図られた。	11月15日第1回VS議長の会議 12月20日第2回VS議長の会議	3月ラウンドテーブルで上進予定状況を把握し、地区内各団平均で90%以上であった。
V	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ④全ての団から、「菊」「富士」取得者を自指す ②各各種会議の実効性確保	地区VS議長会議(年3回)及びVS集會(年2回)の実施	6月度RTで開催時期の調整を行った。議長会議は10月実施予定	11月15日第1回VS議長会議 12月20日第2回VS議長会議	1月31日第3回VS議長会議 3月6日第4回VS議長会議 3月20日第5回VS議長会議 3月27日 平成26年度地区VS会(予定) 春日井市	地区VS議長会議の立ち上げ予定がずれ込んだ。その後は地区VS議長を中心として、スカウトの力によって進捗を促す。本年9月の地区VS会を自指したが1個のみであったが、その企画立案などの企画、計画、運営方法については、期待値以上で大きく評価された。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	隊員向上のための、研究会の実施	5月度RTで探検旅行の企画案について研究会、6月度は研究会を実施	地区探検旅行の準備等において、隊員のスキルアップを支援する	探検隊の基本的考え方、探検への取り組みについてRT内で実施	隊プログラムの進捗について研究会を実施。探検隊、プロジェクティブだけでなく、隊プログラムの重要性について研究会および研修を実施。
R	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ④全ての団から、「菊」「富士」取得者を自指す ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	海外派遣経験者を招き、スカウト、指導者に対して報告会を実施する	海外派遣経験者を招き、スカウト、指導者に対して報告会を実施する	-	2/14のラウンドテーブルと海外派遣の発表をもち、発表者を招待した。	2/14のラウンドテーブルと海外派遣の発表をもち、発表者を招待した。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	ラウンドテーブルと地区ローバース定例会を同時開催する	5/17 ラウンドテーブルローバース部門の説明、ラウンドテーブルと定例会を合同で開催する意味の説明	7/20 ラウンドテーブルラウンドテーブルと定例会の合同開催 指導者4名、スカウト14名	11/15 ラウンドテーブルラウンドテーブルと定例会の合同開催 指導者5名、スカウト14名	2/20、2/14のラウンドテーブルと地区ローバース定例会と同時開催
D	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ④全ての団から、「菊」「富士」取得者を自指す ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	アワードリーダーを招いて、スカウト、指導者に対して説明会を実施する	-	7/20 ラウンドテーブルアワードリーダーを招き、エンパワワードラウンドテーブルで説明会を実施	アワードリーダーと相談し、各団としての中核となるリーダーを確保。書面にして11/15のラウンドテーブルで配布。	7/20のラウンドテーブル、地区ローバース定例会において、若田アワードリーダーより概要説明を実施。 11/15のラウンドテーブル、尾張東地区としての申請方法の説明を実施。 3/5 アワードリーダー研修会
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	団運営の計画策定と活動を支援する。目標6個団	8個団に対して目標達成に向けた取り組みを支援した。スカウト進歩委員会のデータを基にフィードバックを行う。	8月未現在の進捗状況データを分析	進捗状況の分析とスカウト進歩委員会への報告を行う。	団活動の中で7個団が団活動で目標達成した。進歩委員会の報告を行った。
E	(1)スカウトに対して、より良きサービスを提供する ④全ての団から、「菊」「富士」取得者を自指す ②「班」(総)活動のできる「団」に向けた対応を推進 ④各各種会議の実効性確保	団員研修会に前回参加した団員を招き、目標8個団を目指す	8個団に対して目標達成に向けた取り組みを支援した。スカウト進歩委員会のデータを基にフィードバックを行う。	8月未現在の進捗状況データを分析	進捗状況の分析とスカウト進歩委員会への報告を行う。	団活動の中で7個団が団活動で目標達成した。進歩委員会の報告を行った。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	団運営の計画策定と活動を支援する。目標6個団	8個団に対して目標達成に向けた取り組みを支援した。スカウト進歩委員会のデータを基にフィードバックを行う。	8月未現在の進捗状況データを分析	進捗状況の分析とスカウト進歩委員会への報告を行う。	団活動の中で7個団が団活動で目標達成した。進歩委員会の報告を行った。
F	(1)地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する ①市町単位の地域行へへの地区としての支援	地域行事への参加を通じて、地域との連携を強化することを目指す。目標3個団	確認できていない。	-	-	ライオンズとの関係を深め、地域の発展に貢献している。地域との連携を強化している。地域での独自に行事に参加している団と1-2個団と共に活動した。
	(2)指導者の資質の向上を図る。 ③回防等による団への支援を強化	団員研修会に前回参加した団員を招き、目標8個団を目指す	8個団に対して目標達成に向けた取り組みを支援した。スカウト進歩委員会のデータを基にフィードバックを行う。	8月未現在の進捗状況データを分析	進捗状況の分析とスカウト進歩委員会への報告を行う。	団活動の中で7個団が団活動で目標達成した。進歩委員会の報告を行った。

決算

H27年度会計決算報告

1. 一般会計					
<収入の部>					(単位：円)
科 目	予 算	決 算	摘 要		
1	前 年 度 繰 越 金	289,224	289,224		
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,452,400	1,452,400	20,000×23団+600×1,654人	
3	地 区 費 (追 加 登 録)	75,000	45,400	追加登録 89人	
4	県 連 回 付 金	125,000	59,340		
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	46,000	BS講習会、救急章講習会、安全セミナー補助金	
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	25,000	13,340	緑の募金補助金	
5	雑 収 入	10,000	6,714	利息、チャリティーホーリング残金	
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,500,000	1,500,000		
	合 計	3,451,624	3,353,078		
<支出の部>					
科 目	予 算	決 算	摘 要		
1	訓 練 研 修 費	190,000	185,054		
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	20,000	30,584	BS講習会、各研修会支出 - 参加費	
	2) スカウト技能章講習会	20,000	13,470	技能章、フォーラム支出 - 参加費	
	3) コミッショナー研修会	150,000	141,000	コミッショナーグループ研修	
2	行 事 費	120,000	70,326		
	1) スカウトラリー	60,000	15,305	ビーバー&カブラリー	
	2) ベンチャー行事費	40,000	33,700		
	3) ローパー行事費	20,000	21,321	地区ローパス活動費	
3	事業費	956,000	679,508		
	組織・拡充委員会	250,000	143,677	活動費、資料、地区機関紙(97,016)、HP維持費(25,531)	
	指導者トレーニング委員会	50,000	20,929	旅費、印刷代他	
	スカウト進歩委員会	66,000	24,964	"	
	行事・国際委員会	50,000	77,613	ホームステイ支援、旅費、印刷代他	
	総務委員会	50,000	18,840	旅費、印刷代他	
	コミッショナー	200,000	184,525	"	
	事務局	50,000	61,100	肩章、スカウトあいち掲載料(30,000)	
	運 営 費				
	会 議 費	130,000	141,850	会場使用料	
	事 務 ・ 通 信 費	20,000	6,010	振込手数料	
	慶 弔 費	60,000	0		
	雑 費	30,000	0		
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品	
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	800,000	日連、県連各大会	
6	ジ ャ ン ボ リ ー 支 援 金	1,500,000	1,221,407	23WSJ	
7	繰 越 金	335,624	346,783		
	合 計	3,451,624	3,353,078		
2. 特別会計					
科 目	前年度残高	H27年度収入	H27年度支出	次年度繰越	摘 要
1	備品購入積立金	200,000	50,000	0	250,000
2	全国大会関係積立金	3,550,000	800,000	1,500,000	2,850,000
	合 計	3,750,000	850,000	1,500,000	3,100,000

第23回世界スカウトジャンボリー 尾張東地区決算

平成28年3月21日

収入の部

大科目	小科目	単価	数量	予算	数量	決算	内訳
参加隊スカウト参加費	日本連盟参加費	100,000	88	8,800,000	88	8,800,000	5隊36名、6隊36名、4隊7名、15隊9名
	オペレーションきらら	1,000	88	88,000	88	88,000	
	日本派遣団経費	20,000	88	1,760,000	88	1,760,000	
	愛知連盟参加者負担金	34,000	88	2,992,000	88	2,992,000	往復のバス代、移動中食費など
	地区徴収金	25,000	88	2,200,000	88	2,200,000	実行委員会運営費、事前訓練費用など
	指導者費用徴収金	20,000	88	1,760,000	88	1,760,000	参加指導者費用負担(支払総額の1割)
	小計			200,000	88	17,600,000	17,600,000
参加指導者負担金	日本連盟参加費(全日程)	100,000	39	3,900,000	37	3,700,000	隊指導者8名、IST31名
	日本連盟参加費(交替参加)	60,000	7	420,000	7	420,000	隊指導者3名、IST4名
	日本連盟参加費(部分参加)	40,000	9	360,000	11	440,000	IST9名
	オペレーションきらら	1,000	55	55,000	55	55,000	
	日本派遣団経費	20,000	55	1,100,000	55	1,100,000	
	愛知連盟参加者負担金(隊・全日程)	34,000	8	272,000	8	272,000	
	愛知連盟参加者負担金(隊・交替参加)	17,000	3	51,000	3	51,000	片道バス代・食費等
	愛知連盟参加者負担金(IST・全日程)	10,000	31	310,000	29	290,000	テントリース料等(移動費なし)
	愛知連盟参加者負担金(IST交替・部分)	5,000	13	65,000	15	75,000	テントリース料等(移動費なし)
小計					6,533,000	6,403,000	
県連盟補助金	英語研修援助金	100,000	2	200,000	2	200,000	5隊・6隊分
	小計					200,000	200,000
地区補助金	地区積立金取り崩し	1,500,000	1	1,500,000	1	1,500,000	指導者補助1,100,000円、ホームステイ400,000円
	団支援金	296,000	1	296,000	1	392,000	5個団。別途計算根拠資料あり
	小計					1,796,000	1,892,000
その他収入	第1次参加者分早期申込割引戻り金	5,000	114	570,000	114	570,000	大会参加費の5%返金
	テント再販分地区内再販売収入	240,000	1	240,000	1	210,000	スカウト用42張
	地区記念品販売収入	400,000	1	400,000	1	405,000	ポロシャツ販売代金
	雑収入					643	利息
	小計					1,210,000	1,185,643

支出の部

大科目	中科目	小科目	単価	数量	予算	数量	決算	内訳
参加隊・スカウト関係費	日本連盟支出	日本連盟参加費	100,000	88	8,800,000	88	8,800,000	
		オペレーションきらら	1,000	88	88,000	88	88,000	
		日本派遣団経費	20,000	88	1,760,000	88	1,760,000	
		はっぴ購入	5,000	99	495,000		270,000	参加隊1人1着
		テント再販分購入費	4,000	48	192,000		204,000	スカウト用
			6,000	8	48,000			指導者用
	愛知連盟支出	愛知連盟参加者負担金	34,000	88	2,992,000	88	2,992,000	
		編成隊運営費(5隊・6隊)	600,000	2	1,200,000		1,200,000	
	編成隊支出	編成隊運営費(4隊)	20,000	7	140,000		206,020	66,020円 南派遣隊へ追加
		編成隊運営費(15隊)	20,000	9	180,000		200,000	
		英語研修補助金	100,000	2	200,000		200,000	5隊・6隊各10万円
		報告書作成費	50,000	2	100,000		100,000	5隊・6隊各5万円
	小計					16,195,000	16,020,020	
指導者関係費	日本連盟支出	日本連盟参加費(全日程)★	100,000	39	3,900,000	37	3,700,000	
		日本連盟参加費(交替参加)	60,000	7	420,000	7	420,000	
		日本連盟参加費(部分参加)	40,000	9	360,000	11	440,000	
		オペレーションきらら	1,000	55	55,000	55	55,000	
		日本派遣団経費	20,000	55	1,100,000	55	1,100,000	
		参加隊指導者負担金(全日程)★	34,000	8	272,000	8	272,000	
	愛知連盟支出	参加隊指導者負担金(交代)★	17,000	3	51,000	3	51,000	
		IST指導者負担金(全日程)★	10,000	31	310,000	29	290,000	
		IST指導者負担金(交替・部分)	5,000	13	65,000	15	75,000	交替参加4名、部分参加9名
	指導者返金	補助支出(参加隊全日程)	50,000	8	400,000	8	480,000	大会参加費1/2補助、実質負担105,000円→補助6万円に変更
		補助支出(参加隊交替・IST半日程)	30,000	7	210,000	7	280,000	大会参加費1/2補助、実質負担67,000円→補助4万円に変更
		補助支出(IST全日程)	50,000	31	1,550,000	29	1,740,000	大会参加費1/2補助、実質負担80,000円→補助6万円に変更
		補助支出(IST部分)	20,000	9	180,000	11	330,000	大会参加費1/2補助、実質負担46,000円→補助3万円に変更
小計					8,873,000	9,233,000	2,830,000	
ホームステイ関係費	受入補助費	受入補助費(5,000円×2泊)	10,000	40	400,000		0	カナダから40名受入予定
	小計					400,000	0	
実行委員運営費	旅費・交通費	旅費・交通費	50,000	1	50,000		29,000	隊長会議・ブロック会議等
	ブロック費	尾張ブロック実行委員会経費負担	120,000	1	120,000		166,408	資料輸送トラックレンタル料+会議費
	行事費	会場費	20,000	1	20,000		5,130	壮行会・報告会
	通信費	通信費	30,000	1	30,000		20,952	振込手数料・切手代
	記念品作成費	地区記念品作成費	400,000	1	400,000		957,540	地区ポロシャツ&ワッペン作成費用
	印刷費	印刷費	50,000	1	50,000		0	会議資料等
	小計					670,000	1,179,030	
	第1次申込返金	返金	第1次申込返金	5,000	114	570,000	114	570,000
予備費	予備費	予備費	631,000	1	631,000		0	
	小計					631,000	0	

平成28年 3 月 2 1 日

監 査 報 告 書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 横 江 昭 憲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監 事 伊 藤 敏 行



監 事 河 合 正 治



私は、平成27年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、
収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく
示しているものと認めます。

以上

平成28年度地区運営方針

1 運営方針

各団への支援を一層強化することにより、地区として喫緊の課題である「スカウト数の増加」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを推進する事とします。

2 目標

- (1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策を実施します
(青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指す)
- (2) 全ての団から、「菊」「富士」取得者を目指します
①地区目標達成に向けた対応
- (3) WB研修所、実修所への参加を支援します
①課題研修等のトレーナーによる一貫支援（担当制）
②将来の地区を見据えた態勢づくり

3 重点施策

- (1) 「第2回東海4県合同野営大会」に向けた支援をします
①参加者および関連事業への支援態勢
- (2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進します（団の統廃合を含む）
①少人数団（隊）への他団との合同集会の推進
②団訪問等による団への支援を強化
③他団との合同見学会等の開催に向けた取組み
- (3) 実効性のある指導者研修をします
①定型外訓練の充実
②インサービス・サポートの推進
③隊長会および運営委員会の充実（研修の場としての活用）
- (4) 危機管理体制の充実強化を図ります
①防災ボランティア・コーディネーターの養成

4 各運営委員会事業計画

別紙の通りです

平成28年度 地区運営方針

各団への支援を一層強化することにより、地区として喫緊の課題である「スカウト数の増加」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを推進することとする。

平成28年度 目標

- スカウト数の増加に向けた具体的な施策を実施します。
(青少年100人に0、8人のスカウト確保を目指す)
- 全ての団から、「菊」「富士」取得者を目指す
(1)地区目標達成に向けた対応
- WB研修所、実修所への参加支援
(1)課題研修等のトレーナーによる一貫支援（担当制）
(2)将来の地区を見据えた態勢づくり

平成28年度 重点施策

- 「第2回東海4県合同野営大会」に向けた支援
(1)参加者および関連事業への支援態勢
- 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進（団の統廃合を含む）
(1)少人数団（隊）への他団との合同集会の推進
(2)訪問等による団への支援を強化
(3)他団との合同見学会等の開催に向けた取組み
- 実効性のある指導者研修
(1)定型外訓練の充実
(2)インサービス・サポートの推進
(3)隊長会および運営委員会の充実（研修の場としての活用）
- 危機管理体制の充実強化を図ります
(1)防災ボランティア・コーディネーターの養成

行事計画と役割

行事・会議	各組織の機能	メンバー	関連施策番号	活動内容	
1 運営委員会	1-1 組織・拡充委員会	スカウト組織とその拡充及び広報に関する企画 委員長 副委員長 2名 各団委員 22名	2-(1)	入隊面接のマニュアル化をします。	
			2-(1)	スカウト活動PRグッズの検討をします。	
			2-(3)	各団の体験集会を訪問しマニュアルを研究開発をします。	
	1-2 スカウト進歩委員会	スカウト各人の進歩状況の把握と進歩に向けたプログラム活動の企画 委員長 副委員長 2名 各団委員 22名	h28目標 2-(1)	1.各団ごとの進級目標数を掲げて毎月進捗を文章で報告し、その支援を定例の委員会でまいります	
				2.団面接の完全実施と進歩記録をスカウト進歩委員が管理をします	
				3.技能講習会の開催をします： 6回	
	1-3 指導者養成委員会	指導者の育成を図るプログラム企画と場づくり 委員長 副委員長 2名 各団委員 22名	h28重点 3-(3)	4.スカウトフォーラムとアフターフォーラムの全国参加を目指します	
				1.毎回の委員会に情報交換を設け参加団委員の意識向上を計ります。	
				2.技能講習会への奉仕を通じてスキルアップと責務実行を体感します。	
	1-4 行事・国際委員会	野営及び国際行事関係に係る対応施策の企画 委員長 副委員長 各団委員 22名	1-(1)	第2回東海4県合同野営大会に向け、派遣隊指導者全員がBS研修所修了を目指します。	
				3	指導者の養成（確保）に関して研究・開発を行います。
				3-(1)	年間に7回の定型外訓練を開催し、延べ参加者125人を目指します。
	1-5 総務委員会	県連盟の財政確保と行政対応等他の委員会に属さない事項への対応 委員長 副委員長 各団委員 22名	3-(2)	3-(2)	コミッショナーと連携の元、地区内指導者に対しインサービス・サポートの体制を強化します。
				3-(3)	運営委員会を、委員全員の研修の場とするため、グループワークを活用した運営を推進します。
				1-(1)	第2回東海4県合同野営大会への派遣と関連事業への支援をします。
3-(3)				行事国際委員会参加率80%以上を目指します。	
4				危機管理体制の充実強化市、「野舎営届」「県外旅行申請書」提出管理をします。	
目標					
3-(2)				①団委員研修所・団委員実修所への参加者を、現在の履修率10%アップを目標とします。。（4月・8月委員会で参加促進をする。） ②RS対象のリクルート懇談会への5名以上の参加を目標とします。。 ③地区内、親睦会を兼ねて、地区ボーリング大会を開催をします。。（11月26日（土）） ④防災ボランティアコーディネーター養成講座受講後の「フォローアップ・レベルアップ講座」受講促進をします。	
重点施策					
3-(3)				①運営委員会の充実・・・インシデント報告の地区内水平展開の継続と委員会参加率80%以上を目標とします。。 4 危機管理体制の充実強化・・・危機管理連絡網の充実をしてゆきます。（地区HPのシートの活用。） 4-(1) 防災ボランティアコーディネーター養成講座への参加者 5名以上を目標とします。。（7月10日開催予定。）	
2 尾張東地区ローバース Frontier				RS対象の活動および情報交換	地区内のRSおよび同年代の青年指導者
3-1 地区コミッショナー	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	地区内RSおよび同年代の青年指導者	2(1)	隊の人数が少なく、隊活動ができていないローバースカウトに他団との合同活動を推進します。。	
			4(1)	防災ボランティアコーディネーター養成講座に地区ローバースから参加します。	
			1-(1)	東海四県連盟合同野営大会に向けて、参加隊の支援態勢を整備するとともに遅滞なく準備を進めるために実行委員会を定例開催をします。	
			3-(1)	地区トレーニングチーム員の資質向上を目指したタスクチームの事前会議を充実するとともに運営の体系化を行います。	
			3-(1)	RTを対象とした訓練ニーズの取得とそのニーズを反映した地区定型外訓練を実施します。	
			3-(2)	研修所、実修所に参加する指導者の掘り起こしとコミッショナー及びトレーナーの連携により参加者を継続的に支援します。 研修所修了者25名、実修所参加者5名	
			3-(2)	地区救急チームを派遣して、技能講習会を支援します。 年間3回	
			3-(3)	スカウト技能を年代の特性に合わせて隊集会プログラムに取り入れられるように相互研究し、自隊で実施展開するように推進します。	
			3-(2)	11個団以上から定型外訓練への参加を促し、指導者の資質向上を図ります。	
			2-(2)	隊訪問（5ヶ団）を行い、現況を把握しプログラム向上の支援を図ります。	
			2-(2)	担当副コミッショナーによる隊訪問（7ヶ団）を行い個別支援を実施します。	
			3-(1)	DL研修会や野営法について部門のニーズをRTで収集し、各団1名以上の参加を促します。	
			3-(3)	新課程に対応したプログラムの実施について、RT内で研究を行います。	
			1-(1)	第2回東海4県合同野営大会の主管部門として、特に参加隊について、参加隊長への情報提供と指導・助言により、準備訓練および大会中の運営の支援を行います。	
			2-(1)	RTや隊訪問を通じて、少人数隊における活動の方法を研究し、少人数隊でも班制教育が適切に実施されるよう隊長を支援します。	
			3-(2)	昨年度より継続して全団の隊訪問を実施し、地区内BS部門の現状を把握します。その上で各隊の弱点を分析・認識し、翌年度以降のラウンドテーブルでの研究や定型外訓練の計画に反映します。 1級スカウト50名、菊スカウト30名の年間目標を達成します。	
			1-(1)	第2回東海4県合同野営大会におけるVS隊の準備訓練と運営を支援します。	
			2-(1)	少人数隊及び女子スカウトが1名のみ隊について、合同隊集会開催の支援を行うとともに女子スカウト同士による探検旅行のペアリングを支援します。	
2-(2)	すべての団への隊訪問又は指導者と面談を実施し、問題を抽出するとともに個別に支援を行なうことで問題解決を支援します。				
3-(3)	RTを通して、①VSが進んで活動に参加するプログラムの作成、②進歩(単)課目の修得に向けた積極的な助言、③指導者の技能（スカウトに教える技能、プロジェクト等の企画技能）向上、に取り組むことで、本年度、単スカウト14名、富士スカウト3名の輩出を目指します。				
3-(3)	成人にローバー部門の基礎的な理解を促すとともに基本に基づいた活動を支援します。				
2-(2)	隊訪問による現状把握と改善の支援を行います。 英国エディンバラ公園国際アワードの地区内アワードリーダーの統括と、スカウトに対するサポート体制の充実を図り、取組者数を増やします。				
4 団担当コミッショナー	地区内の団の情報、団への巡回・訪問を通して収集し、団運営を支援する。	団担当コミッショナー 6名	2-(1)	スカウト教育の成果をあげる目的に取り組む団同士の協力を支援します。 目標5組	
			2-(2)	エリアごとに団委員会サミットを開催します。 目標3エリア全て	
			2-(3)	復活・再生を図る団を援助します。 目標3個団	
				地域行事への参加を通して、認知度を高めることを目指す団を支援します。目標3個団	
			3-(3)	隊長会及び運営委員会との共通テーマを取りあげて協働します。 目標1件	
5 事務局	地区全般事務関連業務	事務局長 副事務局長 会計係	1.	愛知連盟 事務局長会議への参画をします 年3回	
			2.	団委員長会議、年3回開催・地区委員会 年9回開催をします	
			3.	危機管理委員会の開催をします	
			4.	地区財政・財務管理、表彰関連、資料管理をします	
			5.	各委員会と協働し資料作成などの事務作業をします	
			6.	県連情報伝達等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を図ります。	

H28年(2016年)度 予算 (案)

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科 目		H27年予算	H28年予算	適 要
1	前 年 度 繰 越 金	289,224	346,783	
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,452,400	1,364,600	20,000×22団+600×1,541人
3	地 区 費 (追 加 登 録)	75,000	70,000	130人
4	県 連 回 付 金	125,000	125,000	
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	100,000	セミナー補助金
	2) 緑 の 羽 根 還 付 金	25,000	25,000	緑の羽根
5	雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,500,000	1,000,000	
合 計		3,451,624	2,916,383	

<支出の部>

科 目		H27年予算	H28年予算	適 要
1	訓 練 研 修 費	190,000	200,000	
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	20,000	30,000	指導者講習会、資料他
	2) スカウト技能章講習会	20,000	20,000	技能章研修会、資料他
	3) コミッショナー研修会	150,000	150,000	コミッショナーグループ研修
2	行 事 費	120,000	120,000	
	1) スカウトラリー	60,000	60,000	ビーバーラリー
	2) ベンチャー行事費	40,000	40,000	
	3) ローバース行事費	20,000	20,000	地区ローバース活動費
3	事 業 費	956,000	900,000	
	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	250,000	200,000	委員会活動費、資料代他
	指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	50,000	〃
	スカウト進歩委員会	66,000	50,000	〃
	行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	〃
	総 務 委 員 会	50,000	50,000	〃
	コ ミ ッ シ ョ ナ ー	200,000	200,000	旅費、印刷代、トレーニングチーム経費
	事 務 局	50,000	50,000	スカウト愛知
	会 議 費	130,000	140,000	会場使用料
	事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料
	慶 弔 費	60,000	60,000	祝儀他
	雑 費	30,000	30,000	
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	300,000	日連、県連各大会
6	東 海 4 県 合 同 野 営 大 会 支 援 金	1,500,000	1,000,000	2TC
7	予 備 費	335,624	346,383	
合 計		3,451,624	2,916,383	

2. 特別会計

科 目	前年度残高	H28年収入	H28年支出	次年度繰越	適 要
1 備 品 購 入 積 立 金	250,000	50,000	0	300,000	
2 全 国 大 会 関 係 積 立 金	2,850,000	300,000	1,000,000	2,150,000	2TC等準備金
合 計	3,100,000	350,000	1,000,000	2,450,000	

旧 第9章

第42条 設置

地区委員会は、業務の適正な執行を図るため、各運営委員会を常設します

- ② 各運営委員会は、分担業務について執行します

【各運営委員会】	【分担業務】
省略	省略
省略	省略
指導者トレーニング委員会	省略
省略	省略
省略	省略
	省略

新

【各運営委員会】	【分担業務】
省略	省略
省略	省略
指導者養成委員会	省略
省略	省略
省略	省略
	省略

資料

平成27年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿（取得順）

隼スカウト

一柳 明里 犬山第7団
 納堂 聖也 江南第1団
 岡田 葵 瀬戸第1団
 中村和佳奈 瀬戸第1団
 古澤絵美亜 春日井第10団
 栗原和可奈 春日井第4団
 佐伯 駿 小牧第1団

富士スカウト

島村 真人 犬山第7団
 玉井 鈴野 北名古屋第2団
 中村和佳奈 瀬戸第1団

平成27年度運営委員会出席状況表

組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	6/6	100%
犬山第7団	3/6	50%
岩倉第1団	0/6	0%
大口第1団	1/6	17%
尾張旭第1団	0/6	0%
春日井第2団	5/6	83%
春日井第3団	1/6	17%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	5/6	83%
春日井第8団	2/6	33%
春日井第10団	3/6	50%
北名古屋第1団	0/6	0%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	4/6	67%
江南第3団	5/6	83%
小牧第1団	5/6	83%
小牧第2団	5/6	83%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	0/6	0%
日進第1団	5/6	83%
日進第2団	4/6	67%
平均出席率		59%

スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	3/6	50%
犬山第7団	6/6	100%
岩倉第1団	4/6	66%
大口第1団	6/6	100%
尾張旭第1団	5/6	83%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	4/6	66%
春日井第4団	1/6	16%
春日井第5団	5/6	83%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	4/6	66%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	66%
江南第1団	5/6	83%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	5/6	83%
瀬戸第1団	4/6	66%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	4/6	66%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率		81%

指導者トレーニング委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	6/6	100%
犬山第7団	6/6	100%
岩倉第1団	3/6	50%
大口第1団	0/6	0%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	2/6	33%
春日井第3団	0/6	0%
春日井第4団	4/6	67%
春日井第5団	5/6	83%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	3/6	50%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	67%
江南第1団	5/6	83%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	4/6	67%
小牧第2団	2/6	33%
瀬戸第1団	0/6	0%
瀬戸第6団	5/6	83%
長久手第1団	6/6	100%
日進第1団	5/6	83%
日進第2団	5/6	83%
平均出席率		67%

行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/6	0%
犬山第7団	5/6	83%
岩倉第1団	0/6	0%
大口第1団	4/6	67%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	5/6	83%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	5/6	83%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	5/6	83%
北名古屋第1団	4/6	67%
北名古屋第2団	4/6	67%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	5/6	83%
江南第3団	2/6	33%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	2/6	33%
長久手第1団	2/6	33%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率		70%

総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	66.6%
犬山第7団	3/6	50%
岩倉第1団		0
大口第1団	4/6	66.6%
尾張旭第1団	3/6	50%
春日井第2団	5/6	83.3%
春日井第3団	6/6	100%
春日井第4団	5/6	83.3%
春日井第5団	3/6	50%
春日井第8団	5/6	83.3%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率%
清須第1団	4/6	66.6%
江南第1団	3/6	50%
江南第3団	3/6	50%
小牧第1団	3/6	50%
小牧第2団	6/6	100%
瀬戸第1団	3/6	50%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	1/6	16.6%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	5/6	83.3%
平均出席率		69.5%

ラウンドテーブル [出席率 %]

	BVS	CS	BS	VS	RS
開催回数	8回	8回	8回	8回	4回
犬山第5団	100	88	88	25	0
犬山第7団	100	88	100	100	75
江南第1団	100	38	75	88	0
江南第3団	38	88	88	100	0
大口第1団	88	63	75	63	0
岩倉第1団	—	—	100	100	0
北名古屋第1団	25	50	75	25	25
北名古屋第2団	25	75	75	75	50
清須第1団	63	38	50	25	0
小牧第1団	63	100	100	63	25
小牧第2団	75	100	75	63	25
春日井第2団	75	88	88	75	0
春日井第3団	63	100	63	—	0
春日井第4団	100	100	88	38	100
春日井第5団	88	63	63	50	25
春日井第8団	75	63	63	100	75
春日井第10団	88	63	75	100	25
瀬戸第1団	75	75	100	100	75
瀬戸第6団	0	88	88	100	0
尾張旭第1団	100	50	63	25	—
長久手第1団	0	88	50	88	0
日進第1団	100	75	100	100	0
日進第2団	75	63	100	100	100

尾張東地区 H23年度~H28年度 登録者数推移表

2016/4/1

団	年度	団委員	BVS		CS		BS		VS		RS		成人	スカウト	計
			L	S	L	S	L	S	L	S	L	S			
犬山5	23年	14	7	7	12	15	6	16	3	10	5	8	47	56	103
	24年	12	7	15	12	12	6	14	3	9	5	11	45	61	106
	25年	10	4	13	6	11	4	10	4	10	6	10	34	54	88
	26年	11	4	5	7	21	7	12	3	4	5	14	37	56	93
	27年	9	4	5	7	19	7	7	4	3	5	15	36	49	85
	28年	8	5	6	4	17	4	10	4	2	3	15	28	50	78
	27-28対比	-1	1	1	-3	-2	-3	3	0	-1	-2	0	-8	1	-7
犬山7	23年	10	3	12	12	30	3	20	3	9	2	3	33	74	107
	24年	10	3	9	8	19	3	29	3	8	2	5	29	70	99
	25年	10	3	4	6	17	3	18	3	10	2	5	27	54	81
	26年	10	3	7	5	11	3	17	3	7	2	6	26	48	74
	27年	9	3	5	5	14	3	12	3	7	2	7	25	45	70
	28年	10	1	3	5	11	4	7	3	6	2	6	25	33	58
	27-28対比	1	-2	-2	0	-3	1	-5	0	-1	0	-1	0	-12	-12
岩倉1	23年	6	2	2	1	6	1	8	0	1	1	3	11	20	31
	24年	5	2	1	1	8	1	5	0	3	1	1	10	18	28
	25年	5	0	0	4	5	1	6	0	0	1	2	11	13	24
	26年	5	0	0	1	1	2	8	0	2	1	2	9	13	22
	27年	5	0	0	0	0	2	5	0	4	1	1	8	10	18
	28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27-28対比	-5	0	0	0	0	-2	-5	0	-4	-1	-1	-8	-10	-18
大口1	23年	5	4	4	11	11	2	12	0	0	1	4	23	31	54
	24年	7	3	4	6	7	1	11	0	2	1	3	18	27	45
	25年	7	3	4	5	5	1	8	0	2	1	3	17	22	39
	26年	7	3	6	5	6	1	5	0	4	1	3	17	24	41
	27年	7	4	7	6	8	1	5	0	4	0	4	18	28	46
	28年	7	3	4	10	13	1	3	0	5	0	3	21	28	49
	27-28対比	0	-1	-3	4	5	0	-2	0	1	0	-1	3	0	3
江南1	23年	11	3	6	12	14	7	13	2	9	0	0	32	42	77
	24年	8	4	9	7	4	5	18	2	3	0	0	26	34	60
	25年	7	4	5	6	9	5	13	1	4	1	3	24	34	58
	26年	9	4	9	8	13	9	11	1	8	1	10	32	51	83
	27年	8	4	6	12	17	5	12	2	3	1	9	32	47	79
	28年	6	4	2	5	6	4	11	2	6	1	7	22	32	54
	27-28対比	-2	0	-4	-7	-11	-1	-1	0	3	0	-2	-10	-15	-25
江南2	22年	7	5	9	6	9	7	19	1	10	2	4	28	51	79
	23年	8	4	3	7	15	7	10	1	9	2	8	29	45	74
	24年	6	2	3	5	9	6	9	1	2	2	8	22	31	53
	25年	8	0	0	4	9	5	7	1	5	2	8	20	29	49
	24-25対比	2	-2	-3	-1	0	-1	-2	0	3	0	0	-2	-2	-4
江南3	23年	9	6	4	9	8	5	10	3	3	1	8	33	33	66
	24年	7	7	5	7	7	8	7	1	6	1	6	31	31	62
	25年	8	8	6	6	8	7	7	2	5	1	7	32	33	65
	26年	14	5	6	10	12	8	17	4	10	1	12	42	57	99
	27年	10	5	3	10	8	7	15	2	9	1	12	35	47	82
	28年	9	2	2	8	10	5	15	3	9	1	12	28	48	76
	27-28対比	-1	-3	-1	-2	2	-2	0	1	0	0	0	-7	1	-6
江南4	22年	11	3	7	7	15	3	8	1	9	1	1	26	40	66
	23年	11	3	5	7	12	3	11	1	6	1	3	26	37	63
	24年	11	2	1	7	13	2	10	1	4	1	5	24	33	57
	25年	12	0	0	8	7	2	12	1	2	1	4	24	25	49
	24-25対比	1	-2	-1	1	-6	0	2	0	-2	0	-1	0	-8	-8
清須1	23年	13	4	4	6	7	4	7	3	2	0	4	30	24	54
	24年	11	4	6	6	9	4	6	3	4	0	2	28	27	55
	25年	11	3	5	6	7	4	8	3	3	0	2	27	25	52
	26年	10	3	5	5	13	3	6	3	2	0	4	24	30	54
	27年	11	3	3	5	16	4	7	3	1	0	3	26	30	56
	28年	13	4	4	7	14	3	9	3	5	0	2	30	34	64
	27-28対比	2	1	1	2	-2	-1	2	0	4	0	-1	4	4	8

団	年度	団委員	BVS		GS		BS		VS		RS		成人	スカウト	計
			L	S	L	S	L	S	L	S	L	S			
北名古屋1	23年	22	3	8	8	6	4	15	1	11	1	15	39	55	94
	24年	21	3	1	7	10	4	12	2	11	1	13	38	47	85
	25年	24	3	5	7	7	3	12	1	7	2	8	40	39	79
	26年	29	4	5	6	9	3	10	1	6	2	13	45	43	88
	27年	30	4	3	6	4	4	12	1	9	2	13	47	41	88
	28年	30	4	4	6	6	4	10	1	9	2	14	47	43	90
	27-28対比	0	0	1	0	2	0	-2	0	0	0	1	0	2	2
北名古屋2	23年	12	2	6	6	8	3	17	4	10	5	3	32	44	76
	24年	8	2	2	6	8	3	17	4	10	2	4	25	41	66
	25年	7	2	3	6	5	5	9	4	12	3	2	27	31	58
	26年	7	2	5	6	7	5	6	3	9	1	5	24	32	56
	27年	8	2	8	5	5	3	7	3	6	1	4	22	30	52
	28年	7	3	5	6	7	2	5	2	4	1	5	21	26	47
	27-28対比	-1	1	-3	1	2	-1	-2	-1	-2	0	1	-1	-4	-5
尾張旭1	23年	2	2	2	2	15	1	10	1	10	0	0	8	37	45
	24年	4	2	2	1	9	2	11	1	5	0	0	10	27	37
	25年	4	2	2	1	7	3	13	1	5	0	0	11	27	38
	26年	4	2	3	2	7	3	9	1	6	0	0	12	25	37
	27年	5	2	1	3	5	3	10	1	6	0	0	14	22	36
	28年	4	2	4	2	2	1	5	1	4	1	2	11	17	28
	27-28対比	-1	0	3	-1	-3	-2	-5	0	-2	1	2	-3	-5	-8
瀬戸1	23年	8	2	2	5	10	5	11	4	3	1	7	25	33	58
	24年	7	2	1	5	8	5	11	4	4	1	7	24	31	55
	25年	7	2	1	4	4	6	10	2	6	1	6	22	27	49
	26年	22	3	3	8	6	5	11	3	11	3	11	44	42	86
	27年	20	3	2	7	11	4	8	3	9	3	13	40	43	83
	28年	17	2	2	9	7	4	8	4	6	2	14	38	37	75
	27-28対比	-3	-1	0	2	-4	0	0	1	-3	-1	1	-2	-6	-8
瀬戸5	22年	15	5	3	7	6	3	8	3	7	2	2	35	26	61
	23年	14	6	3	6	8	3	7	3	5	2	5	34	28	62
	24年	17	0	0	6	7	3	6	3	5	2	6	31	24	55
	25年	13	2	1	5	4	3	4	3	4	1	6	27	19	46
	24-25対比	-4	2	1	-1	-3	0	-2	0	-1	-1	0	-4	-5	-9
瀬戸6	23年	15	5	13	7	16	3	11	2	7	0	1	32	48	80
	24年	15	4	8	7	15	2	12	2	7	0	3	30	45	75
	25年	15	5	3	8	20	2	14	2	8	0	4	32	49	81
	26年	18	5	6	11	16	2	17	1	6	0	2	37	47	84
	27年	19	5	5	11	18	3	18	2	5	0	2	40	48	88
	28年	22	1	1	7	13	4	17	2	7	0	4	36	42	78
	27-28対比	3	-4	-4	-4	-5	1	-1	0	2	0	2	-4	-6	-10
長久手1	23年	10	3	8	4	20	5	6	2	10	0	9	24	53	77
	24年	8	3	7	3	20	3	8	2	6	0	11	19	52	71
	25年	8	2	1	7	14	5	7	2	3	0	15	24	40	64
	26年	12	1	3	3	8	2	7	1	4	0	9	19	31	50
	27年	12	2	5	3	7	2	4	0	4	0	7	19	27	46
	28年	14	3	5	3	6	2	4	0	4	0	8	22	27	49
	27-28対比	2	1	0	0	-1	0	0	0	0	0	1	3	0	3
日進1	23年	14	8	6	9	16	4	14	1	9	1	3	37	48	85
	24年	14	11	10	9	14	4	11	2	10	1	3	41	48	89
	25年	16	8	7	9	15	4	11	2	9	1	3	40	45	85
	26年	18	7	5	8	13	4	13	2	4	0	7	39	42	81
	27年	19	10	8	5	15	3	12	1	2	0	7	38	44	82
	28年	17	8	7	7	18	2	8	1	2	0	4	35	39	74
	27-28対比	-2	-2	-1	2	3	-1	-4	0	0	0	-3	-3	-5	-8
日進2	23年	16	6	10	9	15	4	13	3	4	0	6	38	48	86
	24年	13	4	4	11	22	6	17	1	3	0	4	35	50	85
	25年	14	2	2	10	19	6	19	1	5	0	3	33	48	81
	26年	16	3	7	8	15	6	20	1	5	0	5	34	52	86
	27年	15	4	11	7	13	6	19	3	8	0	4	35	55	90
	28年	17	3	13	4	14	6	15	3	7	0	6	33	55	88
	27-28対比	2	-1	2	-3	1	0	-4	0	-1	0	2	-2	0	-2

団	年度	団委員	BVS		CS		BS		VS		RS		成人	スガフ ト	計
				S		S		S		S		S			
小牧 1	23年	23	4	9	11	34	9	22	4	11	1	15	52	91	143
	24年	22	3	11	15	28	9	26	3	8	1	18	53	91	144
	25年	25	4	11	12	28	8	25	2	9	1	20	52	93	145
	26年	24	3	13	9	17	8	32	2	12	1	16	47	90	137
	27年	23	4	13	9	19	5	29	3	14	1	15	45	90	135
	28年	17	4	7	12	26	5	24	3	14	1	14	42	85	127
	27-28対比	-6	0	-6	3	7	0	-5	0	0	0	-1	-3	-5	-8
小牧 2	23年	12	8	7	7	10	3	8	1	5	2	8	33	38	71
	24年	13	6	8	8	15	2	7	2	6	2	7	33	43	76
	25年	13	7	4	6	21	4	6	3	3	1	7	34	41	75
	26年	11	6	6	10	16	6	15	3	3	1	6	37	46	83
	27年	14	6	6	8	10	8	18	1	1	1	8	38	43	81
	28年	13	5	2	7	11	9	17	1	3	1	6	36	39	75
	27-28対比	-1	-1	-4	-1	1	1	-1	0	2	0	-2	-2	-4	-6
春日井 2	23年	23	5	11	7	16	4	28	3	11	3	5	45	71	116
	24年	24	3	9	7	14	3	19	3	18	1	7	41	67	108
	25年	24	4	8	7	21	4	19	2	14	1	9	42	71	113
	26年	25	6	9	6	18	5	18	2	14	1	11	45	70	115
	27年	26	4	6	9	21	3	17	2	6	2	18	46	68	114
	28年	24	2	10	9	18	4	17	2	7	2	14	43	66	109
	27-28対比	-2	-2	4	0	-3	1	0	0	1	0	-4	-3	-2	-5
春日井 3	23年	20	5	2	5	12	4	17	3	8	2	5	39	44	83
	24年	19	4	3	3	6	4	14	3	9	2	8	35	40	75
	25年	18	3	1	4	5	3	8	3	13	2	8	33	35	68
	26年	18	3	2	3	2	3	7	2	7	2	7	31	25	56
	27年	12	1	1	2	1	2	1	0	0	1	2	18	5	23
	28年	15	0	0	3	4	2	3	0	0	1	4	21	11	32
	27-28対比	3	-1	-1	1	3	0	2	0	0	0	2	3	6	9
春日井 4	23年	18	13	26	9	26	4	19	2	4	2	8	48	83	131
	24年	18	17	21	11	32	3	12	1	10	3	7	53	82	135
	25年	18	15	18	14	35	3	16	2	10	2	7	54	86	140
	26年	14	7	18	12	35	5	22	3	9	1	7	42	91	133
	27年	17	8	14	9	36	7	29	2	6	3	15	46	102	146
	28年	18	6	8	10	37	6	28	2	5	3	17	45	95	140
	27-28対比	1	-2	-6	1	1	-1	-1	0	-1	0	2	-1	-7	-6
春日井 5	23年	11	2	4	5	8	3	19	1	4	1	1	23	36	59
	24年	15	2	4	4	4	3	14	2	4	0	0	26	26	52
	25年	13	2	1	5	4	3	11	2	5	0	1	25	22	47
	26年	9	2	5	4	3	2	10	2	4	0	2	19	24	43
	27年	10	2	3	4	6	2	7	2	6	0	1	20	23	43
	28年	9	2	1	4	7	2	6	2	6	0	3	19	23	42
	27-28対比	-1	0	-2	0	1	0	-1	0	0	0	2	-1	0	-1
春日井 8	23年	8	3	2	2	5	2	4	3	3	0	0	18	14	32
	24年	6	3	3	3	7	2	3	3	4	0	0	17	17	34
	25年	7	3	4	3	7	1	3	1	4	0	1	15	19	34
	26年	6	3	3	3	7	1	5	1	4	0	2	14	21	35
	27年	6	3	5	3	9	1	6	1	2	0	4	14	26	40
	28年	9	2	6	3	5	1	8	2	2	2	7	19	28	47
	27-28対比	3	-1	1	0	-4	0	2	1	0	2	3	5	2	7
春日井 10	23年	10	2	5	7	13	4	12	2	9	2	4	27	43	70
	24年	10	4	3	7	10	4	19	2	5	1	3	28	40	68
	25年	12	4	4	7	11	3	19	2	4	2	4	30	42	72
	26年	10	5	4	6	9	3	13	1	6	2	5	27	37	64
	27年	11	5	1	6	10	3	10	1	6	2	7	28	34	62
	28年	11	5	3	7	7	3	10	0	5	2	5	28	30	58
	27-28対比	0	0	2	1	-3	0	0	-1	-1	0	-2	0	-4	-4
総合計	23年	327	115	171	185	350	104	341	56	168	36	136	820	1,166	1,989
	24年	311	107	150	172	315	99	330	54	166	30	142	773	1,103	1,876
	25年	316	95	114	167	305	98	291	50	163	32	148	758	1,021	1,779
	26年	310	84	133	147	263	96	292	43	147	25	159	705	994	1,699
	27年	306	88	121	142	272	88	270	40	121	26	171	691	954	1,645
	28年	297	71	99	138	259	78	240	41	118	25	172	650	888	1,538
	26-27対比	-4	4	-12	-5	9	-8	-22	-3	-26	1	12	-14	-40	-54
27-28対比	-9	-17	-22	-4	-13	-10	-30	1	-3	-1	1	-41	-66	-107	

表彰関連

平成27年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	褒状	伊藤克敏	春日井第4団カブ隊長
	感謝章	生田亮俊	北名古屋第1団 育成会長
	かっこう章	串崎武志	春日井第10団 団委員長
		花堂泰博	犬山第7団 副団委員長
	特別 年功章	20年	6名
		15年	7名
		10年	18名
		5年	19名
	組織拡充顕彰	Aランク	春日井第2団 春日井第4団 小牧 第1団
	隊褒章綬	55年	北名古屋第1団ボーイ隊
		50年	清須 第1団ベンチャー隊 北名古屋第1団カブ隊 春日井 第2団カブ隊
		40年	大口 第1団ボーイ隊 日進 第1団カブ隊
		35年	北名古屋第2団ボーイ隊
		30年	江南 第3団ベンチャー隊 日進 第1団ベンチャー隊 小牧 第2団ベンチャー隊 春日井 第4団ビーバー隊 春日井第10団カブ隊
25年		日進 第1団ローバー隊 小牧 第1団ビーバー隊 春日井 第2団ビーバー隊 春日井 第3団ビーバー隊 春日井第10団ビーバー隊	
20年	春日井 第3団ベンチャー隊		
愛知連盟	県連有功章	星 信行	日進 第2団ベンチャー隊長
		古市和子	江南 第3団ビーバー隊長
		伊藤克敏	春日井 第4団カブ隊長
		山口みつえ	江南 第1団カブ副長
		青山慎吾	江南 第3団ビーバー隊長
		加藤雅己	瀬戸 第6団団委員
	顕彰記章	古澤絵美亜	春日井第10団
		高橋泰志	小牧 第1団
		船橋昭成	小牧 第1団
		星野 輝	日進 第1団
組織拡充顕彰		春日井 第4団	

地区役員名簿

役務		氏名	所属
協議会会長		横 江 昭 憲	日 進 第 2 団
協議会副会長		船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
地区委員長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区コミッショナー		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区副コミッショナー	BVS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
		石 川 保 子	江 南 第 1 団
	CS	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
		伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	BS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
	VS	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
		佐 藤 精	日 進 第 2 団
	RS	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
	団担当コミッショナー		串 崎 武 志
高 多 宣 彰			日 進 第 1 団
小 林 泰 陸			春 日 井 第 4 団
林 尊 浩			瀬 戸 第 6 団
佐 藤 慶 子			春 日 井 第 2 団
椎 葉 育 美			江 南 第 3 団
組織・拡充委員長		椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
組織・拡充副委員長		青 木 正 士	春 日 井 第 4 団
		板 津 尚	犬 山 第 5 団
指導者養成委員長		伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
指導者養成副委員長		山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
		鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
スカウト進歩委員長		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
スカウト進歩副委員長		八 橋 隆	江 南 第 1 団
		金 田 高	日 進 第 2 団
行事・国際委員長		井 上 文 義	瀬 戸 第 1 団
行事・国際副委員長		間 下 伸 一	清 須 第 1 団
総務委員長		大 谷 茂	北 名 古 屋 第 1 団
総務副委員長		田 口 澄 雄	瀬 戸 第 6 団
事務長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
副事務長		中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
会計係		志 水 幹	日 進 第 2 団
ローパス代表委員		水 野 宏 紀	春 日 井 第 4 団
		佐 藤 遥	小 牧 第 1 団
監事		伊 藤 敏 行	江 南 第 4 団
		河 合 正 治	大 口 第 1 団

尾張東地区トレーニングチームメンバー

	NO	役 務	氏 名	所 属 団
日本連盟	1	リーダートレーナー	井 上 勲	小 牧 第 2 団
	2	リーダートレーナー	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
	3	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
	4	リーダートレーナー	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 8 団
	5	アシスタントリーダートレーナー	森 裕 次	瀬 戸 第 6 団
	6	アシスタントリーダートレーナー 新規	林 尊 浩	瀬 戸 第 6 団
	7	アシスタントリーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
	8	アシスタントリーダートレーナー	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
	9	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
	10	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
	11	アシスタントリーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
	12	アシスタントリーダートレーナー	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
	13	アシスタントリーダートレーナー	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
	14	アシスタントリーダートレーナー	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
県トレーニングチーム	1	チームスタッフ	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
	2	チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
	3	チームスタッフ	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
	4	チームスタッフ	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
	5	チームスタッフ	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
	6	チームスタッフ	石 川 保 子	江 南 第 1 団
	7	チームスタッフ	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
	8	チームスタッフ	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
地区トレーニングチーム	1	チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	2	チームスタッフ 休務	岩 田 み ど り	春 日 井 第 8 団
	3	チームスタッフ	伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	4	チームスタッフ	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
	5	チームスタッフ	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
	6	チームスタッフ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
	7	チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
	8	チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
	9	チームスタッフ	開 内 佐 恵 子	小 牧 第 1 団
	10	チームスタッフ	山 梨 智 恵	長 久 手 1 団
	11	チームスタッフ	佐 藤 精	日 進 第 2 団
	12	チームスタッフ H27 新規	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	13	チームスタッフ 新規	内 田 志 郎	春 日 井 第 4 団

尾張東地区救急チームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	チー フ	小林 泰 陸	春日井第4団
2	サブチー フ	高 多 宣 彰	日進第1団
3		横 江 昭 憲	日進第2団
4		串 崎 武 志	春日井第10団
5	事 務 局	中 村 里 美	北名古屋第2団
6		増 田 恵 子	春日井第5団
7		片 谷 文	春日井第5団
8		松 本 陽 子	春日井第2団
9		水 野 勲	春日井第8団
10		五 井 忍	春日井第4団
11		西 下 秀 志	北名古屋第2団
12		椎 葉 浩 志	江南第3団
13		杉 本 京 子	犬山第5団
14		伊 佐 治 知 加 子	日進第2団
15		三 宅 裕 子	瀬戸第1団
16		藤 井 孝 之	小牧第2団
17		伊 藤 栄 志	江南第3団
18		平 野 嘉 彦	北名古屋第1団
19		原 宏 太 郎	春日井第10団
20		小 川 万 里 子	瀬戸第6団

尾張東地区WEBチームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	ス タ ッ フ	椎 葉 浩 志	江南第3団
2	ス タ ッ フ	石 原 昌 幸	江南第3団

開催会議名称		開催日(基本計画)	時間	場所(部屋名)	28/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
地区諸会議	地区協議会(総会を含む)			18:00 指定場所	17									29			16						
	地区委員会		指定月 第2日曜日	19:00 レディヤン 研修室		8	12	10			11	13	11	9		12-26		14	11	9			
	団委員長会議		指定月 第2土曜日	19:00 レディヤン 研修室	9							22				11		8					
	企画会議		指定月 指定日時	17:30 レディヤン 第1集会室	24							23						23					
	地区コミ会議		偶数月 第4日曜日	17:30 19:00 レディヤン 第1集会室	17副		26副		28副					25		26	18		28	25	27		
	団担当コミ会議		3月毎 指定日時	17:30 19:00 レディヤン 第1集会室	10			18				2											
	地区名誉会議		指定月 指定日時	17:30 レディヤン 第1会議室												5							
	A	組織・拡充委員会	偶数月 第2日曜日	17:30	レディヤン 第4会議室			12		28				11						11		27	
		総務委員会	偶数月 第1,2土曜日	19:00	レディヤン 第4会議室 第2会議室	10		11		27		9		10		12		9		10		26	
	B	指導者養成委員会	偶数月 第3日曜日	19:00	レディヤン 第1会議室	24		19		28												27	
		スカウト進歩委員会			レディヤン 第2会議室	17				21		23		18		19		23		18		20	
		行事・国際委員会			レディヤン 第4会議室																		
	A	BVS隊	指定月 第4日曜日	19:00	レディヤン 第4会議室		22	26	24		25	23	27		22		12		28	25	23		
		CS隊			レディヤン 第2会議室														26				
B	VS隊	指定月 第3日曜日	17:30	レディヤン 第3会議室			19																
	RS隊	指定月 指定日時	19:00	レディヤン 第2会議室		14		18		19	22	19		15		26		21	18	16			
地区ロ-バス会議		指定月 指定日時	17:30			15						20						21					
地区登録審査		地区													25-26								
スカウト対象	VS.技能章(茶道章)	スカウト進歩委員会												22									
	VS.技能章(炊事)					14-15					22-23 一泊								13-14 一泊				
	VS.技能章(野営)							18-19					5~6								17-18		
	VS.技能章(救急)																	9					
	VS.技能章(看護)			3																			
	バンチャ-フォーラム(アフター含)						12								7/7-15								
第2回東海4県合同野営大会		2TC実行委員会		日和田高原					5-10														
地区BVSラリー																19							
地区トレーニングチーム会議		地区TT		()は主要スタッフ会議												20							
指導者対象	定型外訓練	団委員長研修会・団委員長サミット	指導者養成委員会					3			22												
		デンリーダー研修会(CS)				29													21				
		隊指導者研修会(BVS)						12													11		
		プロジェクト法研究会											19-20										
		救急・安全講習会													5							9	
		野営法研修会								27-28								26					26-27
	定型訓練	ポ-イスカウト講習会 28-08	指導者養成委員会		江南市布袋北学習共用施設						11												
		ポ-イスカウト講習会 28-17			小牧市青年の家													5					
		WB研修所 BVS 第39期			新城 吉川野営場		3-6																
		WB研修所 CS 第115期			新城 吉川野営場		4/29-5/2																
		WB研修所 BS 第120期			新城 吉川野営場		4/29-5/2																
		WB研修所 BS 第121期			新城 吉川野営場							22-25											
		WB研修所 VS 第19期			新城 吉川野営場							22-25											
		WB研修所 試行コース			新城 吉川野営場									3-6									
WB実修所(PT) VS第29期		新城 吉川野営場								7-10													
団委員長実修所(MT)第18期		新城 吉川野営場							17-19														
安全セミナー		県内全4回			12	24					20	11											
団委員長研修所 第37期		新城 吉川野営場				16-18																	
団委員長研修所 第38期		豊川 新東工業研修センター										4-6											
愛知スカウトフォーラム				新城 吉川野営場							29-30												
愛知連盟 年次総会				名古屋国際センター別棟			19																
日本連盟 全国大会				宮城県仙台市			28-29																

祝日振替休日が月曜日にある場合は、月曜日に会議を開催する
但し会議重複がある場合は地区委員会を優先する
県連ボーリング大会 平成29年1月14日(土)
県連ゴルフ大会 平成28年11月22日(火)
平成29年1月14日(土) (地区予選 平成28年11月26日(土))